

2019年7月24日発行

BiVSの本だな 第15号

獨協大学

図書館学生サポーター **ビボス**

Bibliothek **V**olunteer **S**upporters

夏休み直前号



いよいよ夏休み！

ということで、今回は夏休みを利用してぜひ行ってほしい美術展、そしておすすめの本の紹介です。

お得な情報も掲載されているので、最後まで読んでいただけたら嬉しいです。



1 しんぶん係が行ってきた！ おすすめの写真展・美術展

① 世界報道写真展 2019

- * 毎週月曜日休館
- ・ 開館時間 10:00～18:00(木・金は 20:00 / 但し 7月 25・26 日、8月 1・2 日は 21:00 まで)
- ・ 会場 東京都写真美術館(地下 1 階展示室)
(JR 恵比寿駅東口より徒歩 7 分
東京メトロ恵比寿駅より徒歩 10 分)
- ・ 入館料 学生 600 円
一般 800 円
- ・ 公式ホームページ
<https://www.asahi.com/event/wpph/>
- ・ 公式 SNS : Twitter→@wppjapan

世界報道写真展とは？

世界報道写真展とは、ドキュメンタリー、報道写真の展覧会です。毎年 1 月～2 月にかけて前年に撮影された写真を対象にした、「世界報道写真コンテスト」が開かれ、審査員によって選ばれた作品が世界報道写真展で展示されています。

現代社会の問題、一般ニュース、環境、長期取材、自然、スポーツ、スポットニュース、ポートレートの 8 部門の受賞作品を見ることができます。

まず、展示されている写真は前年 1 年の間に撮られた報道写真ということで、その年がどんな年だったのかということがわかります。今回は中東の写真が多かったけれど、今回は中南米の写真が多かったというように報道の世界の目の向け方がどのように変わったのかが感じることができます。今回見に行く方、または見に行った方には今後毎年見に行っていたら、世界の注目の移り変わりを実感してもらいたいです。

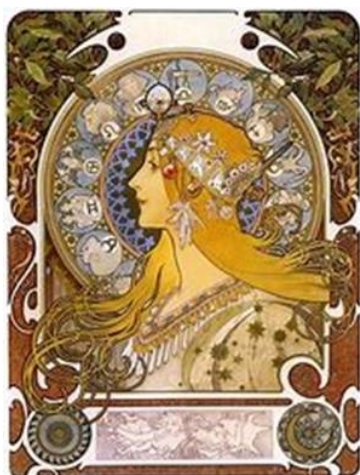
写真展自体は地下 1 階で開催されていますが、チケットを購入できるのは 1 階の総合受付なので、1 階でチケットを購入してから地下 1 階に行ってください。筆者は買わずに地下 1 階に行ってしまう、また 1 階へ戻ってくるというのを毎回やってしまいます(苦笑)



② みんなのミュシャ

～ミュシャからマンガへ線の魔術～

- ・開催期間 7月13日(土)～9月29日(日)
*7/16、7/30、9/10(全て火曜日)のみ休館
- ・開館時間 10:00～18:00
(毎週金・土曜日は21:00まで)
- ・会場 Bunkamura ザ・ミュージアム
(渋谷駅から徒歩7分)
- ・入館料 大学・高校生 1000円
一般 1600円
- ・公式ホームページ
<https://www.ntv.co.jp/mucha2019/>
- ・公式SNS: Twitter→@mucha2019
Instagram→@mucha2019



アルフォンス・ミュシャ(1860～1939)はチェコの画家で、主に挿絵やポスターを描いていました。ミュシャの絵の中で後世に最も影響を与えたのが、「Q型方式」と呼ばれるスタイルです。左の写真の絵のように、円環モチーフと一体化した女性の脚と衣服がQの字を作ることから「Q型方式」と呼ばれています。

私が最も印象に残った作品は、「幻影：『ファウスト』の挿絵の習作」です。『ファウスト』は元々ドイツの伝説で、ゲーテが詩劇として書いたものが有名です。主人公ファウストが悪魔と命を引き換えに契約を交わし、若返って青春をやり直すという話です。絵では主人公ファウストが悪魔と契約を交わすシーンを描いています。ミュシャが多く描いた、ポスターや挿絵とは違う、奥が見えないような奥行きつけ方がとても印象に残っています。

美術展はミュシャの幼少期の絵から始まり、ミュシャに影響された現代の漫画家の絵というような流れで、とても見やすく、ミュシャの影響力の大きさを感じました。みなさんもぜひ足を運んでみてください。館内は寒いので羽織れる物をお忘れなく！

なんと一部の作品は撮影可能です！ぜひこの機会に写真を撮ってみてください！

2 夏休みにおすすめ!

ビブリオバトルで紹介された本

実はBiVSのミーティング内で、6/12, 19, 26にビブリオバトルを行いました。観覧自由ではあったのですが、誰も来ませんでした…というわけで、ここでビブリオバトルで登場した本を紹介したいと思います!

BiVSのメンバー選りすぐりの本をぜひ夏休みに読んでみてください。

ビブリオバトルとは…

ビブリオバトル(知的書評合戦)とは、発表者が面白いと思った本を1人5分間で紹介し、3分間の質問タイムを経て、発表が終了した後に「どの本が1番読みたくなったか?」を基準としてオーディエンスが投票し、チャンプ本を決める本の紹介ゲームです。一言でいうと推し(本)について5分間語るというゲームですね。



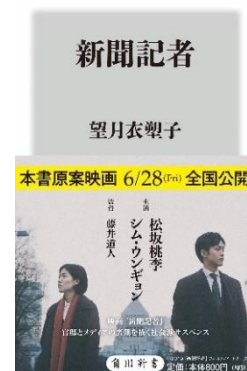
『そして、バトンは渡された』

著者：瀬尾まいこ

出版者：文藝春秋

請求番号：913.6-Se76s

「私には父親が三人、母親が二人いる」血のつながらない親の間をリレーされ4回も名字が変わった主人公、森宮優子。しかし、彼女はいつも愛されていた。その理由は?そして彼女に託された「バトン」の運命は・・・?
発表者 ドイツ語学科4年 木村 沙也加



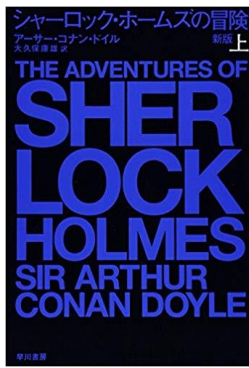
『新聞記者』

著者：望月衣塑子

出版者：角川書店【角川新書】

請求番号：070.16-Mo12s

官房長官会見に彗星のごとく現れ、次々と質問を繰り出す著者。脚光を浴び、声援を受ける一方で、心ないバッシングや脅迫、圧力を一身に受けてきた。演劇に夢中だったという筆者はなぜ記者になったのか。劇的に変わった日々、そして記者としての思いを明かす。
発表者 国際関係法学科3年 高橋 真由



『シャーロックホームズの冒険』

著者；アーサー・コナン・ドイル
出版者；岩波書店【岩波文庫】
請求番号；B-933-D89b（装丁が異なります）

6編からなる短編集。おすすめは「ボヘミアの醜聞」です。ホームズが隠されたある手紙を取り返してほしいと頼まれるのですが、手紙を見つけ出すのに使った方法に驚くこと間違いなし！人間の本能って怖いものだなあ…
発表者 国際環境経済学科1年 小林 倭央



『カラフル』

著者：森 絵都
出版者：理論社
請求番号：913. 6-Mo454c

自殺未遂をした中学生の体の中に違う魂が入る物語です。主人公の家族や進学、友人に対しての考え方がさまざまな経験を通して変化していく様子がおもしろいです。物語のラストでは読者を驚かせるような大どんでん返しが待っています！いい意味で裏切られました。是非読んでみて下さい。
発表者 総合政策学科3年 石毛 眞子



『異文化理解力』

著者：エリン・メイヤー
出版者：英治出版
請求番号：336. 49-Me95i

異文化理解力とは、相手の言動の真意を理解し、自分の言動を相手がどう捉えているかを理解すること。著者が開発した異文化理解ツール、カルチャーマップをもとに文化の違いを可視化しています。「大学生のうちに読んでおきたい本」のコーナーにあります。
発表者 ドイツ語学科4年 伊藤 梨沙



『アンダスタンド・メイビー』

著者：島本理生
出版者：中央公論新社
請求番号：913. 6-Sh381u-1

筑波に住む中学三年生の黒江は、研究者をしている母との二人暮らし。両親の離婚以来、家庭に居場所を見つけられずにいた。ある日、書店で目にした写真集に心を奪われ、カメラマンになるという夢を抱く。中3の春少女は切ない初恋と未来への夢と出会った。それは愛と破壊の世界への入り口だった—
発表者 言語文化学科4年 鷺田 奈々子



『メアリー・スーを殺して』

著者：乙一、中田永一、山白朝子、越前魔太郎
 出版者：朝日新聞出版
 所蔵なし（草加市立図書館に所蔵あり）
 ISBN：9784022513106 9784022649126（文庫）

夢の異空間へと誘う、異色アンソロジー。中田永一の表題作をはじめ、人が「進化」していく過程を描いた、乙一の『愛すべき猿の日記』、など、全7編の単行本未収録作品を収載。

発表者 国際関係法学科1年 市之瀬 美羽



『アリソン II 真昼の夜の夢』

著者：時雨沢恵一
 出版者：メディアワークス
 所蔵なし（草加市立図書館に所蔵あり）
 ISBN：9784840223072

巨大な大陸が一つだけある世界——その大陸は二つの連邦に分けられていて長い間、戦争を繰り返していた。その東側の連邦に暮らす学生ヴィルと軍人アリソンは、そこでホラ吹きで有名な老人と出会う。その老人は二人に“宝”の話をする。『戦争を終わらせることができる、それだけの価値がある宝』。

発表者 言語文化学科4年 鷺田 奈々子



『あなたのプレゼン誰も聞いてませんよ！ シンプルに伝える魔法のテクニック』

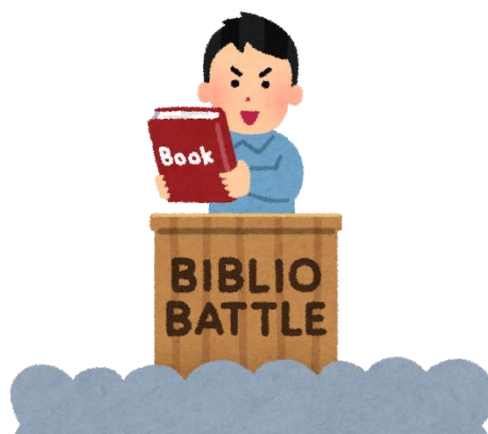
著者：渡部欣忍
 出版者：南江堂

請求番号：490.7-W46a

プレゼンテーションをいかに魅力的に行うかを、具体的なスライド作成のテクニックを中心に解説した実用書です。スライド例を豊富に掲載し、文字の色や大きさ、図表の見せ方についても詳しく説明しています。

発表者 国際環境経済学科3年 佐川 将大

知的書評合戦 ビブリオバトル



3 BiVSの雑誌つまみぐい

Vol.2

『The Big issue Japan』

P-368.2-B42 2階和雑誌

創刊号以来の「BiVSの雑誌つまみぐい」のコーナーの復活です！本コーナーは、BiVSのメンバーがあまり読まれていなさそうだなーという雑誌を発掘し、紹介するコーナーです。第2回は私、しんぶん係で国際環境経済学科1年の小林俊央が紹介します。

私が紹介する雑誌は、『The Big issue Japan』です。ビッグイシューは、ホームレスの人々に収入を得る機会を提供する事業として1991年にロンドンで始まりました。雑誌の販売者はホームレスか、自分の住まいを持たない人々です。彼らは雑誌一冊を170円で仕入れ、350円で販売し、180円を収入としています。

雑誌を購入することで、生活に困っている人を助けられるという点はもちろん良い点だと思います。でもですね、その前にまず、**内容がすごく良い、濃いんですよ！**毎月、1日と15日に発行されているのですが、毎回内容が多岐にわたり、面白いんです。例えば、最新号では、特集は多様な魚について、他にはラマダーンについてや女優の方へのインタビューなど。かと思えばその前の号では、民主主義についての特集、そのまた前の号の特集は、生きやすくなる方法。そして、ラミ・マレック(映画ボヘミアンラプソディーでフレディ役をやっていた方!)へのインタビュー記事。本当に様々なトピックについて書かれていて、このクオリティで350円とは…。参考文献としてレポートなどにも使えると思います。本当に中身が濃い。

ビッグイシューは、駅でホームレスの人々が販売員として売っています。渋谷駅や新宿駅、池袋駅などでも売っています。巻末に販売場所一覧が載っているので、どの改札で売っているかなどの詳細はそちらをご覧ください。

夏休みになって出かける機会も増えると思うので、販売員を見かけたらぜひ買ってみてください。筆者も東京に行ったら販売員さんを探してみたいと思います！



4 しんぶん係発見！

無料で美術館、博物館を楽しもう

① サマーナイトミュージアム 2019

- ・概要：都立の美術館、博物館では夏休み期間中の金曜日に開館時間を 21 時まで延長します。17 時以降の入場で、学生は観覧料無料となりさらにミニコンサート・ギャラリートーク等のイベント、カフェやショップでの特別サービス等特典があります。
- ・開催期間：7 月 18 日(木)～8 月 30 日(金) 17:00～21:00
(東京都現代美術館、東京都庭園美術館、東京都美術館は 7 月 26 日(金)からの開催)
- ・会場：東京都現代美術館、東京都江戸東京博物館、東京都庭園美術館、東京都美術館、東京都写真美術館(木曜日も 21 時までオープン)
- ・公式サイト：<https://www.rekibun.or.jp/nightmuseum2019/>

② 東京駅周辺美術館特別企画 学生無料ウィーク

- ・概要：東京駅周辺の 4 美術館で、期間中の開館日であれば学生は無料で入館できるというものです。
- ・参加館：出光美術館、三井記念美術館、三菱一号館美術館、東京ステーションギャラリー
- ・期間：7 月 20 日(土)～7 月 31 日(水)
- ・公式サイト：<https://5museums.tokyo/week.html>

編集後記

まず、最後まで読んでいただき、ありがとうございます。今号は夏休み直前号ということで、情報をつめにつめました。紹介した中から何か1つでも実際に行ったり、読んだりしていただけたら嬉しいです。BiVS の本だなを書くのは楽しいのですが、現在しんぶん係は 1 人ということで結構大変だったりもします。

BiVS はいつでも新メンバー大歓迎ですので、興味を持った方は水曜日のお昼休みに図書館の会議室(外からはわからないところにあるので、場所はカウンターの方に聞いてください)に来てください！お待ちしております！

そして、BiVS は Twitter もやっています！ぜひフォロー&リツイートよろしくお願いします。@dokkyo_lib_bivs

(しんぶん係 国環経 1 年 小林俊央)